

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2006-295561(P2006-295561A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-113784(P2005-113784)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/413 (2006.01)

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

H 0 4 N 1/41 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 4 N 7/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/413 D

H 0 3 M 7/30 A

H 0 4 N 1/41 A

H 0 4 N 7/13 Z

H 0 4 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

文書画像データを文字領域と絵柄領域とに分離し、像域分離信号を出力する画像領域判別手段と、

前記文書画像データに符号化処理を行い、符号データを生成する符号化処理手段と、

前記画像領域判別手段から出力される前記像域分離信号に応じて、前記符号化処理手段による処理内容を切り替える切替手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像処理装置であって、

前記符号化処理手段は、J P E G 2 0 0 0 アルゴリズムによる符号化処理を行なうことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の画像処理装置であって、

前記符号化処理手段は、階調優先モードではウェーブレット係数に対してスカラー量子化処理を行い、解像度優先モードではエントロピー符号化されたデータに対してポスト量子化処理を行なうことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

文書画像データを文字領域と絵柄領域とに分離し、像域分離信号を出力する画像領域判別ステップと、

前記文書画像データに符号化処理を行い、符号データを生成する符号化処理ステップと

、

前記画像領域判別ステップから出力される前記像域分離信号に応じて、前記符号化処理

ステップによる処理内容を切り替える切替ステップとを有することを特徴とする画像処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置および画像処理方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像処理装置および画像処理方法に関し、具体的には、符号化処理における画像領域毎の量子化制御に関し、特にポスト量子化とスカラー量子化の使い分け制御に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、上述の実情を考慮してなされたものであって、ポスト量子化とスカラー量子化の量子化処理の二つの量子化方式を具備する符号化方式を用いて、画像属性の特性に適した高精度な量子化制御を行って圧縮率を高めることができる画像処理装置、画像処理方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の課題を解決するために、請求項 1 に記載された発明は、文書画像データを文字領域と絵柄領域とに分離し、像域分離信号を出力する画像領域判別手段と、前記文書画像データに符号化処理を行い、符号データを生成する符号化処理手段と、前記画像領域判別手段から出力される前記像域分離信号に応じて、前記符号化処理手段による処理内容を切り替える切替手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 2 に記載された発明は、請求項 1 に記載の画像処理装置において、前記符号化処理手段は、J P E G 2 0 0 0 アルゴリズムによる符号化処理を行なうことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項3に記載された発明は、請求項2に記載の画像処理装置において、前記符号化処理手段は、階調優先モードではウェーブレット係数に対してスカラー量子化処理を行い、解像度優先モードではエントロピー符号化されたデータに対してポスト量子化処理を行なうことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項4に記載された発明は、文書画像データを文字領域と絵柄領域とに分離し、像域分離信号を出力する画像領域判別ステップと、前記文書画像データに符号化処理を行い、符号データを生成する符号化処理ステップと、前記画像領域判別ステップから出力される前記像域分離信号に応じて、前記符号化処理ステップによる処理内容を切り替える切替ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】